

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	胆道癌における CD109 蛋白発現の意義の解析 (B22-042)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部病理学 教授 村雲 芳樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません。
本研究の概要・背景・ 目的	<p>CD109 は細胞膜表面に存在する蛋白です。ある種の悪性腫瘍、特に扁平上皮癌にて高発現しており、癌の発生・進展に関与している分子と考えられています。近年、肺腺癌や膵癌においても CD109 が腫瘍細胞の移動・転移に大きく関わる事が明らかになりました。現在、胆道癌における CD109 発現の臨床的意義の解明はされていないため、今回の研究を立案しました。</p> <p>本研究の目的は、多数の胆道癌の臨床検体を用いて CD109 の発現と臨床病理学的因子との関連を明らかにすることにより、胆道癌における CD109 の発現意義と予後への影響を解明することです。</p>
調査データ 該当期間	2006 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記期間内に北里大学病院と北里大学東病院において、外科手術で切除され、胆道癌(胆嚢癌、肝外胆管癌、肝内胆管癌)と診断された方。</li> <li>・同期間に切除された慢性胆嚢炎と診断された方。</li> <li>・消化管悪性腫瘍の切除時に同時に切除されたほぼ正常な胆嚢を切除された方。</li> </ul>
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報: 2006 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、および提出された病理検体を利用します。</p> <p>方法: 大学病院病理部に保管されている対象症例検体のパラフィンブロックを用いて HE 染色と免疫染色を行い、CD109 発現について調査を行います。また CD109 発現と臨床情報との相関なども調査します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提 供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は消化器内科学医局研究費を使用します。本研究に関し、関連企業からの資金提供及び研究者と関連企業との利害関係はありません。よって、研究者が企業の影響を受けたり研究結果の信頼性を損ねたりすることはありません。本研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、指示に従います。

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： <b>所属・職位：助教</b> <b>担当者：(フリガナ) 鴻上 太郎(コウガミ タロウ)</b> <b>電 話：042-778-8111</b></p>
備 考	